

**北の物販倶楽部
謁見音声 書き起こし資料**

2015年3月24日 謁見収録 No.02

はじめに

◎【推奨環境】

このレポート上に書かれているURLはクリックできます。できない場合は最新のAdobeReaderをダウンロードしてください。（無料）

<http://www.adobe.co.jp/products/acrobat/readstep2.html>

◎【著作権について】

このレポートは著作権法で保護されている著作物です。下記の点にご注意戴きご利用ください。

- ・このレポートの著作権は『北の物販倶楽部』に属します。著作権者の許可なく、このレポートの全部又は一部をいかなる手段においても複製、転載、流用、転売等することを禁じます。
- ・このレポートの開封をもって下記の事項に同意したものとみなします。
- ・このレポートは秘匿性が高いものであるため、著作権者の許可なく、この商材の全部又は一部をいかなる手段においても複製、転載、流用、転売等することを禁じます。
- ・著作権等違反の行為を行った時、その他不法行為に該当する行為を行った時は、関係法規に基づき損害賠償請求を行う等、民事・刑事を問わず法的手段による解決を行う場合があります。
- ・このレポートに書かれた情報は、作成時点での著者の見解等です。著者は事前許可を得ずに誤りの訂正、情報の最新化、見解の変更等を行う権利を有します。
- ・このレポートの作成には万全を期しておりますが、万一誤り、不正確な情報等がありましても、著者・パートナー等の業務提携者は、一切の責任を負わないことをご了承願います。
- ・このレポートを利用することにより生じたいかなる結果につきましても、著者・パートナー等の業務提携者は、一切の責任を負わないことをご了承願います。

北野会長：

きょうはAのためにこの席を設けたみたいなものや

A：

ありがとうございます。遅れて済みません

北野会長：

その無駄使いが俺のいいところなの、無理、無駄、ムラって・・・いい言葉じゃないけど・・・

A：

それで仲間ができるって・・・

北野会長：

仲間はいっぱいふえるタイプやねん

A：

本当です

北野会長：

俺の場合はイケイケやから、矢でも鉄砲でもいうタイプやから・・・

A：

笑

真田 孔明：

土曜日ね、そういえば12人ぐらい来るのですよ、会長のメンバーの・・・秘密結社のメンバーの人が

A：

え～JBですか？

真田 孔明：

そうそう、それで温泉にみんな入りたいっていうので朝便で来たりするんだよね・・・

A：

12人！

北野会長：

お前、上手に言えば全部気にいるかもよ

A：

どこに泊まれるのですか？みんな？

真田 孔明：

みんなKSL

A：

KSLか・・・なるほど、なるほど

北野会長：

店でやっぱり買わせるスタイルをギブアンドテイクやから・・・ピンハネ工業やから・・・ちゃんとリベートを渡さなきゃあかんよ。彼はリベート専門やから・・・

A：

それはお二人ですかね？

北野会長：

当たり前やろ、お前

A：

もちろんですよ！

北野会長：

お前、俺を忘れたら人生は寂しいぞ！いや、俺の友達も1個買いに来るから・・・

北野会長（妻）：

日曜日に見に来るのよ

北野会長：

いや、あれは・・・

A：

いつまででしたっけ？28から・・・

北野会長（妻）：

28に夜到着、あと会うのは1日かその辺になるかなと思うんですけど

A：

わかりました、それで



北野会長：

そうやる？お前俺と、うろうろしとるだけでもこんだけお客さんが来るがやから・・・

A：

きのう一昨日でしたっけ？会長が来たからJBにいっぱい人が来たみたいなの。そういう話を
して・・・

北野会長：

これ、何で俺がJBに来たの知っとる？これすごいね深いわけがあるが深いわけ・・・JBに真田孔明
という人が孔明というメールを読んどったわね？俺が顔は知らんがよ・・・よっぽど間違った文章
を書く人が・・・

真田 孔明：

国債の借金が問題だと・・・

北野会長：

そう毎日書いておるわい、僕は東京の政治家に言われたの・・・これは抹殺するか何かしてもら
わんと困ると・・・

真田 孔明：

やっぱり見ているんですか？タカの方々は・・・

北野会長：

あれが一番見ている・・・

真田 孔明：

暇だから？やっぱり

北野会長：

暇やから・・・それとY沢と一緒にさ、やっぱ横柄なことをやるとピシンや・・・ノミやピシンや
から、やっぱり潰される。だから俺は危険なことは書くなよっていうのはそこよ・・・みんな見
ておるんやから、こんなの一発やよ？3本の指で人間は全部死ぬがやから・・・教えてやれ。警
察、税務署やっとなこと・・・例えば、俺・・・

真田 孔明：

許認可

北野会長：

許認可・・・全部この三つあれば全部引っかかる



真田 孔明：

100%

北野会長：

そうやよ、人間はやっぱりそこはわかっとなんとだめ

A：

すごいですね、特上ですね（食事）

北野会長：

マスターの一番上手なものをつくれと・・・一番腕が出せるところを・・・きょうは最初から言う
たやないか？きょうはAのためにこの席を設けたと・・・お世辞やないんだから、とりあえず酒
でも飲んでやな・・・

A：

ありがとうございます、おいしいです。こうやってJBで飲む・・・

北野会長：

俺の場合はちょっとあやふややけど・・・

真田 孔明：

ちなみにきょうメンバーの前だと、北野会長という名前で、あっちの名前は封印で・・・

A：

そういうことですね、なるほど、なるほど

真田 孔明：

もし、万が一

A：

もう、みんな知らないのですか？

真田 孔明：

本名はちょっと・・・内容的にほら、話の内容がやばいので 笑

北野会長：

俺やろ・・・結構やばいよね？好きなことを言うタイプやから・・・



A：

講演会じゃないけど、みんなで集まって・・

真田 孔明：

そのメンバーが12人来るのですよ、僕を含めて12人

A：

すごいですね

真田 孔明：

土日・・温泉にみんなで入ってもらって朝便で来る人たち

A：

ぜひ、ぜひ

北野会長：

だから、どうやって売り込むかや？部屋を売ってもだめ・・部屋を売ってもな、売れんが。自分を売らなきゃ。俺はA・・きょうは酔っ払っておるから言うけど自分が出とらんやん。自分で出とらん。もっと、自分はさ自分のやから・・だから、お前ね、どんだけ海外で勉強しようなと思って来とっても、自分が出せんだら何もならんが・・俺を見てみ？どこに行ってもパ～ンや

北野会長（妻）：

出しすぎ

真田 孔明：

今、勉強しようって言いましたよね？単語・・まさにそこの格局なのですよ！すごいよね！全部当てるのですよ。格局を・・パ～ッと単語一つで・・いつも当てる・・これは四柱推命で出しているのが僕が1回・・すげえと思って、今。ぱっと一発で当てるのですよね。単語を・・外さないんですよ、外さない

北野会長：

これを考えてものをしゃべるいうことはねえから

A：

一番冷静でいたい自分がいるのですよ

北野会長：

だから、だからさ・・タコの糸と同じな、これだけしか伸ばさん奥さんがおると人間はこの円の中におらん・・タコの糸はどんどん伸ばすから、孔明（妻）も孔明のどんどん糸を伸ばし



て 笑 あのね、ここで一番大事なことは糸は伸ばすけれども金も持って帰ってこれと・・・
これはね伝書鳩やから・・・わかった？

A：

自分が好きなときにもう1回引いて・・・いけいけいけ

北野会長（妻）：

引くときにはちゃんとお金を持って・・・

真田 孔明（妻）：

お金と供に戻ってくる・・・

真田 孔明：

言うとその場で引くよね？言われたらね

真田 孔明（妻）：

確かにちゃんとその辺はね・・・

一同：

笑

北野会長：

そういうことが一番大事な人間は。あとは生きておれば大丈夫。死んだらほれでチンやから・・・

真田 孔明：

会長と奥様は40何年間ですか今？45年ぐらいですか？

北野会長（妻）：

もう41～2年かな？

北野会長：

41年・・・そんなことねえや・・・娘はいくつなの？

北野会長（妻）：

41だもん・・・

北野会長：

じゃあ、42年やろ



真田 孔明：

上の子は41歳ですか？下の方が・・・

北野会長（妻）：

一つ違い

A：

一つ違い・・・同じ歳ですね

北野会長（妻）：

あっそうなの？

北野会長：

本当

真田 孔明：

何年生まれですか？

A：

昭和50年

北野会長（妻）：

50年ね

北野会長：

あっ50年？

真田 孔明：

50年生まれなのですか？あれ、同じですよ、うさぎ年ですよ、うさぎ年

北野会長（妻）：

うさぎ

A：

うさぎ、うさぎグループ

北野会長：

「うさぎ、うさぎ、何見て跳ねる？」やから



A：

何月生まれですか？

真田 孔明（妻）：

11月です

真田 孔明：

じゃあ、娘さんと一緒の年です・・・入金のやり取りをさせてもらっているのですよね。北野会長CCを入れて・・・

北野会長（妻）：

下の子と・・・

北野会長：

お前やっぱ、バ〜ンと2,000万円、3,000万円・・・あの細かいの言うよりも俺・・・大体2億円、3億円が好きやから・・・

真田 孔明：

細かいお金で・・・ 笑

北野会長：

精子でも大体、2億、3億出るんやから・・・せめて単位を億にしてほしいよね？孔明みたら、ちびちび売ってるんやから・・・

真田 孔明：

数百万円のサイン・・・

北野会長：

何千とかあんま好きやないんやて、ツルは千倍やけど何か亀年やもんで・・・できたら何億ぐらいにしてほしい。頼むよお前・・・お前結構可能性あるよ・・・

真田 孔明：

こっち可能性ありますね？これね

北野会長：

可能性ある

真田 孔明：

宗教法人はちょっと・・・



北野会長：

ほんまのこと言うたら大事なことなの・・きょうのこの俺の一言がお前の人生を絶対に変えるがや・・本当やぞ

真田 孔明：

食べてください

北野会長（妻）：

あれやね？お坊さんのわりにおとなしいね

北野会長：

ガラが悪いんや

A：

ガラが悪い？

北野会長：

ガラの悪いところが出せんから・・

北野会長（妻）：

結構ほら、何か好き放題・・

北野会長：

まだ、開眼しとらんタイプやから

北野会長（妻）：

そっか、だからか

北野会長：

もっとうちのところに來たら、今みんな水をかぶって「般若心経・・般若心経・・」ってやっ
とるがやて 笑 白装束で・・凍るよ、すぐ体・・ホント。お前あれを般若心経とかさ言う
とらんと、うちの冷てえ氷水で打たれておりやすぐね、開眼するよ！これは、何から食べれば
いいか知らんけど・・

A：

おいしいですよ

北野会長：

これは何かでかいな



A：

3切れ入っていますから・・・

北野会長：

3切れ入っとるがやけ？

北野会長（妻）：

Aさん、食べないと

A：

あっ、いただいています

北野会長：

今度、1回、脱税で手を組もうぜ 笑

北野会長（妻）：

そういう危ないことを言わないの

北野会長：

大丈夫、まだ若いから多少・・・大丈夫、初犯は大丈夫やから

北野会長（妻）：

初犯

一同：

笑

A：

今日3月24日じゃないですか？自分、去年の3月24日にマレーシアに来たのですよ、家族とちょうど1年、そうなのです

真田 孔明：

丁度一年

北野会長（妻）：

おめでとう

A：

ありがとうございます！頑張っています



真田 孔明：

1年

A：

はい

北野会長：

三蔵法師はどれだけおるって？

法裕法師：

2012年の頭から・・・

北野会長：

もう2年か？3年か？

真田 孔明：

もう、いきなりリタイアメントビザをとってきたのですよ

北野会長：

結構、いい加減な坊さんやの？お前頭でも剃ってさ・・・

真田 孔明：

最初は五分刈りでしたよね？最初は・・・

北野会長：

本当？

北野会長（妻）：

そうなの？

真田 孔明：

途中から何か途中からヤンチャになってきたんですよ、髪の毛が・・・

北野会長（妻）：

そうなの？

北野会長：

人間ちゃあ1個やから・・・1個やから。思うたとおりにバ〜ンと生きればいい。人生は短けえから・・・今はさ人生は何か長いなと思うておるやろ？でも本当は人生っていうのは短い・・・もう64や・・・人生は・・・



北野会長（妻）：

もうちょっと

北野会長：

10年生きて74・・・80になればほとんどチンや

北野会長（妻）：

もう、だめだめ

北野会長：

お前、俺が死んだらお経でもさ・・・

北野会長（妻）：

会長のためにとって・・・

北野会長：

般若心経でもいいけど・・・いやいやホンマそんな世界やねん、金も同じ

北野会長（妻）：

もう10年10年・・・元気でいられるのも・・・何でもできるのも10年だね

A：

ですかね？でも、すごいお若いから・・・

北野会長（妻）：

いやいや・・・若くても内臓・・・中側はもうだめになってきているよ。お酒を飲み過ぎて

北野会長：

酒を飲み過ぎて頭はセンチンピンやし・・・はっきりわからんがよ

真田 孔明：

ラスベガスの方は80代ですよ？

北野会長：

いやいや、80前や

北野会長：

80前なのですか、70代ですか？



北野会長：

そうそう。あの、あんたにサイト言うたSさんも、Sさんおるやろ?73~4やな・・マッカラン1杯が聞いた?60万や・・

真田 孔明：

60万?

北野会長：

マッカランの水割り1杯が60万円やて言うがから、あの人は・・

真田 孔明：

料理が3万円とかでも、こっちが高いのですね?酒があそこは・・

北野会長：

ワイン1本は安いんやけど、150~60万円や

真田 孔明：

僕の友達が投資家の一人なのですよ、あそこの・・あそこのちょうど白木屋のスパゲッティー屋をやっているのですよ、グルテンフリーの・・ちょうど友達が42歳ぐらいの人なのですけれども・・たまたまそこのオーナーで・・あそこのお店も投資しているのですよ一緒に・・Sさんと・・たまたま、ただで行っていいよって言われていたんですよ僕たち、今回

北野会長（妻）：

行ってきたの?

真田 孔明：

行かなかったです。あのスーツきていかなきゃならないとか、いろいろうるさい。子どもがね、あれだとか何かね・・ただでいいよって言われたんですけど、ただってわけにいかないなみたいな

北野会長（妻）：

一緒にみんなでね・・

真田 孔明：

ただより高いものはないなと思って・・入会金がだって600万円か6,000万円の2種類しかないんだもん

北野会長（妻）：

そうそう



北野会長：

6,000万円ほどや今・・・

真田 孔明：

6,000万円と600万円のコースなんですよ、二つありました。ゴールド、プラチナみたいに・・・あるんですよ。600万、6,000万が・・・

北野会長：

本当

真田 孔明：

で、レストランもあるんですハワイ・・・僕の友達が・・・でもそのオーナーが北野会長とかの知り合いで・・・

北野会長（妻）：

すごいやよ

A：

メニューが違うのですか？こう6,000万円、600万円って・・・

真田 孔明：

メニューは一緒なんですけれども、そこからデポジット・・・使っていく。でも何でこの3万円の料理でよく使えるなって思ったら酒が高いんですよね、あれはね

北野会長：

マッカランの何十年ものが1杯60万円っていう・・・

真田 孔明：

そりゃ、600万円かかるわ

北野会長（妻）：

かかるわね

真田 孔明：

料理3万円で何回行けばいいんだ？と思って

北野会長：

思うやろ？ワインが160万円からやから



A：

料理はすごいおいしいのですか？

真田 孔明：

いや、わからない、僕は・・・「ただほど怖いものはない」って行って行かなかったから 笑

A：

準備をしなきゃいけない・・・

北野会長：

料理も大したものじゃねえぞ

真田 孔明：

あっもう、行かれたのですよね？

北野会長：

俺は何回も行ってるけど・・・どこか真っ直ぐ下がった左側のイタ飯屋も同じ

真田 孔明：

味ですか・・・

北野会長：

俺から言うと・・・酒だけなんや、あとはぼったくりマシーンやから・・・ぼったくり、ただのぼったくり

真田 孔明：

でも、何かやっぱりね、F1ドライバーとか日本の芸能人だったら浜崎あゆみとか、何かそういう人たちが・・・

A：

来ちゃうんですか・・・

北野会長：

だから集める力さ・・・有名人を集めりゃあ、真田孔明も違うよ。有名人を集め・・・こんなね、「安いプラチナよりもみんなブラックカードにしましょうと。入会金は少し・・・少し高いけど1,000万円にしました」これでもね、メンバーはまた集まるがやて・・・あのね、金っていうのは金持ちからしたら例えば10億円持っとる人に見てみたら1,000万円のカードなんて当たり前。黒いカードを持てば、そんなもので・・・金に糸目なんてつけんがやな、俺を試してみろ？金が余っとるがゆえに金には糸目をつけんがやて・・・これがね、また面白いところなの・・・Aお前飲め・・・ちょうど丸1年よく頑張ったか知らんけれども



A：

まだ自分を出し切れていないぞと・・・

北野会長：

いやいや、普通の人は俺は最初来たときに言ったやろ？酒をやめたいって、どうしてきょうもワインがいけんの・・・

真田 孔明：

あまり飲まないの？これ特上刺身

A：

いただきます・・・おいしそう

真田 孔明：

まぐろ、中トロ

A：

すごいですね！これ・・・

真田 孔明：

北野会長の教えのおかげでうちの弟は月収が20万円だったのですよ、酪農で・・・それがやはり2,000万円引っ張れたので・・・ぱっとね、全然違うのですよね

北野会長：

だから孔明はね、そこら辺をもっと会員にうまいこと説明っちゅうもんかさ・・・

A：

ふえています？引き出す人たち・・・

真田 孔明：

あっ引き出す人はね、どんどん増えてますよ

A：

本当ですか？

真田 孔明：

本当です



北野会長：

Aも・・・

A：

まだまだいけるのですね？

真田 孔明：

これからですよ

A：

これから？

北野会長：

よく覚えておかな、Aはここに来て給料いくらもらっとん？概算・・・日本円で・・・

真田 孔明：

でも、社長さんですからね

A：

そんなに大したことないと思いますけど・・・

北野会長：

だからいくらもらっとんの？はっきり言えって、そこから俺が答えを教えてやっから・・・

A：

今どんなものだろうな？

真田 孔明：

1本はいつているんですか？

北野会長（妻）：

1本はいつてるでしょ

A：

前後・・・そのぐらいですね

北野会長（妻）：

ね、社長だもん



A：

日本にいたときはイチロクからイチナナぐらいだったのですよ

真田 孔明：

あっもっと？もっといっていたんですか？あの会社Hさんと一緒ですよ？Hさんとね・・・Hさんがエンジニアでコンサルタントむかつくって言ってた、そのコンサルタントなんですよ？

A：

笑

真田 孔明：

エンジニアの下っ端でね

A：

今は大分変わっていると思うんですけどね

北野会長：

いやいや、だから・・・その給料をいくらやて言うたっけ？今日本円で・・・

A：

1本ぐらいです

北野会長：

100万円やろ？

真田 孔明：

1年間で1,000万円ぐらい・・・

北野会長：

1年間で1,000万円、いくらぐらい残るの？1年間で・・・

A：

こっちだと結構残りますね、やはり

真田 孔明：

住居も出してくれているんですよ？

A：

全部じゃないですけどね、どのぐらいかな？投資に使えるのが400万円ぐらい・・・



北野会長：

400万円！すごい、400万円残っちゃあ・・・10年で4,000万円、4,000万円を利回りやから・・・あとは増やす力があるかないかだけや。孔明は金は全部奥さんに預ける、あとは俺の言うた銘柄を買うとりゃ金はただ増える

真田 孔明：

楽天証券を開けて・・・でも、免許証がないんだよね？開けないんだよね

北野会長：

俺がこの間あんたに、うちの利回りを見せたやろ？トリプルエンジンで51%ぐらい回っておる。違うんだよ俺は天才やから・・・済みません・・・今これ・・・本当に頭がクレージーでないと、たまに言うがや自分は天才やて・・・違うでしょ？情報よりすぐれたものはないや情報の下に金融工学があるがや情報の下に・・・情報がなかったらジョホールバルにならんが・・・だから情報があって金融工学が働くわけよ

A：

それが集まってくる、情報が・・・

北野会長：

だから、三角形の下にこうやって三角形をつくって、こっちにも三角形を作る。その下に逆三角形ができるのは全部、俺の利益さ

A：

なるほど

北野会長：

だから、働く必要はないわけよ。働く人は労働者っていうの、経営者は何をする？経営をすることが経営者だ。経営者が働くからおかしくなる。経営者が働くから間違い間違い勘違いが起きるわけよ！経営者は俺を見てみらん・・・来月は上海で遊ぶ、次の月は5月になったら5月9日から地中海クルーズすると・・・8月ぐらいからカリブに行ってバ〜ンと金に糸目はつけんと・・・こういうような遊びをしておると全然問題ない。モウマントイこれね、結構簡単やけど難しい、こういう考え方がないから、お前もだからAも・・・

A：

僕、働いていますよ！バリバリ！

北野会長：

違う違う、働いとるいうことは何かいって言うたら労働者の圏域に入っておるわけや・・・労働者はね・・・絶対に成功せんがやて！永遠に労働者やど・・・わかる？これね会社をやめたら凡人やから・・・俺や孔明は違うよ。我がで飯を食っておるやろ？おい仏教！



一同：

笑

北野会長：

お前はあれか？我が力で飯を食わしたらあかんぞ！聞こえておるのかお前？だんだん言葉も荒くなってきてさ・・・でもはっきり言わんとわからんタイプやから

真田 孔明：

全部見抜いている

北野会長：

頭がちょっとセンチピン系やから・・・やっぱバ〜ンと言わんと！

真田 孔明：

全部わかるよね

法裕法師：

当たってますね

北野会長：

そうやる？俺は昔から真実以外は言わんタイプやから・・・いやホント・・・お前はだからもう1回頭を青く剃って・・・それからスタートや・・・今のお前じゃあかん

真田 孔明：

ああ・・・最初はでも・・・会ったとき、タイに来ていたときだよな？ちょうどね？いっぱい来てたけどソリコミだったよね？

法裕法師：

そうですね

A：

そうなんですか？

北野会長（妻）：

かわいいお坊さんだったもんね

北野会長：

あの坊さんはあかん・・・飲めや



真田 孔明：

イケメン僧侶ってはやっているんですよね？最近ね？日本で

北野会長（妻）：

流行ってる

北野会長：

あのね、人間はさ、一番大事なのは時間と約束と金や！覚えておけよ！時間を守らんやつ、約束を守らんやつ、金の決済を守らんやつはただのごみ！ごみや！

真田 孔明：

はい

北野会長：

本当や・・・これはね一番大事で・・・あのね、約束を守らんやつは時間を守れん。金の決済なんて死んでも守れん。だからTPOが大事さ。だから時間と約束と金や・・・マネーや。この間孔明の何か文章を読んでいたら、力があって情報があってあと何が必要？とクエスチョンが書いてある・・・クエスチョン。俺は孔明の文章を読んで初めて見た・・・こういうの・・・クエスチョン？決まっておるやん！何が大事か金に決まっておるやん！お前、戦争するにも何をするにも大事なのは金やて！ここへ来とっても金はいるがやで？ここに来とってもね、今は金はプラスチックで払える。全然いらんが・・・

真田 孔明：

クレジットカード

北野会長：

カードで払える・・・だから4枚のカードを持っとれば世界を征服

北野会長：

お寺！

A：

すごい、あだ名が出てくる

北野会長：

これぐらいね、はっきり言わんと脳裏には残らんやて・・・孔明さんも初めて俺がワインを3本ほど飲んだ日に1,000兆円の借金をしたいって、それを覚えておったから俺はすごいやつやなと・・・俺はこの間、何かで見ておったら・・・孔明は1,000兆円の借金、あれはこれチャックやから人前でほとんど言わんがじゃ・・・俺、だからたったワイン3本でそのことを・・・



真田 孔明：

そのときに一緒にいたんですよ

北野会長（妻）：

そうなの？よく聞いていたね

北野会長：

その真実を言うとした・・・怖い・・・自分が・・・結構ゲロするタイプかなと・・・

北野会長（妻）：

酔っ払ったらだめね・・・

北野会長：

でも、頭は元々ぱらぱらやから大丈夫や、でも違うやて・・・経済は借金したほうが・・・借金したほうが絶対に銭はふえるやから

真田 孔明：

お金は信用創造だからね・・・誰か借りないとふえないですからね

北野会長：

だから、俺を見ても・・・ジェントルマンやから・・・違うんだよ。俺は金は創造するがや・・・ジェンとる、銭とる。絶対に返さんねん、これが俺のいいところ。金は返したらなくなるもの・・・わかるやろ？お前、財布に銭を入れてとって、払ってみいよ！お前金はどんどん減るやろ？俺の場合は金は返さんが・・・金は返さんと絶対に減らん。この原理がわからんうちは何をやってもだめ！坊主をやっても・・・お骨堂やったっけ？

北野会長（妻）：

納骨堂

北野会長：

納骨堂をつくっても、「じゃんじゃん持ってこられ」と・・・はっきり言えなきやさ、金は集まらんよ・・・わかる？納骨堂持ちたい人にみんなメールを打つが！「毎月これぐらいかかりますよ」とかさ？日掛け月掛け心掛けと昔から決まっておる。商売の順序は日に銭をとって月に銭をとって、あとは心がけや。わかる？これをまめにやるとやはり商売の原点はまめによいしゃにプレゼント。わかる？まめによいしょにプレゼント。あとは、日掛け月掛け心がけ。俺なんかは、もっと超越しておるから、超越しておる・・・バ〜ンバ〜ンや！いつでもどこでも誰とでも・・・

真田 孔明：

笑



北野会長：

聞いた？初めて聞いた？もう1個・・・やっぱり勇気、実行、行動力。俺はいつも、みんな、あんたたちに言うやろ？俺は実行犯やから何でもバ〜ンとやるがやて・・・バ〜ンとやるが！この怖さ・・・人間っていうのはみんな怖い・・・俺かて怖いよ！俺はバンジージャンプでバ〜ンってできるわけ・・・わが身を捨ててこそ浮かぶ背や！わが身捨ててこそ浮かぶ背やるが？そこがさ、普通の人にはわからんわけよ。坊さん頼むぞ！

北野会長（妻）：

お坊さんは説教するから、何でも知っているんじゃないの？

北野会長：

この坊さんは全然わからんって・・・真面目な坊さんやもん

真田 孔明：

お父さんもわかっていない・・・余りそういうの・・・お父さんもやられていないんですか？真っ当なことを？

法裕法師：

はい

北野会長：

あのね！真っ当な人生ほど銭は絶対にもうからんが！真っ当や言うやろ？

法裕法師：

儲かってないです

北野会長：

だから日本国な何をつくっておるといって・・・小学校のいい小学校、いい中学校、いい高校、いい大学・・・あれは部品づくりや・・・トヨタの部品やからあれは・・・大きな円と小さいギアを作って回しておるわけよ

真田 孔明：

パーツを・・・

北野会長：

パーツをつくっておるわけや！俺はパーツでは間に合わない・・・こんな変形したギアやから・・・パーツに間に合わんだわけよ。だから自分の世界をつくるわけや・・・自分の世界やから・・・俺はあんたたちと全然違うんや、俺は俺の世界がある。俺がつくっとる世界やて・・・「夢の世界さ〜」みたいな、こういう夢の世界なんじゃの 笑 とうとう歌まで出てきたから



北野会長（妻）：

大分、酔っ払っていますね

A：

いい言葉が出てきます！

北野会長：

酔っ払うとかっぱいらは紙一重なのよ！

北野会長（妻）：

何言ってんの

北野会長：

いやホントに！この酔っ払いとかっぱいらのこの紙一重・・・ここが結構難しいやて

一同：

笑

北野会長：

おい、お寺！

一同：

笑

北野会長：

お前の手の表はどっちや？手の表どっちねん？こっちか？では手の裏は・・・だから、表と裏だけはっきりどっちかを区別するわけや・・・わかった？でも手の表では物はつかめる・・・でも手の裏では物はつかめん・・・そうやる？ところが、1回持った手でも持つやろ？次の物をほしくてもつかめんが・・・わかる？これ1回離したら次のものはつかめん。わかる？持ったままでは何もつかめんがや！次のものは・・・新しいものをつかむっていうのは1回持ったものを離す・・・1回持ったものを離すことが次のものをつかめるチャンスがあるわけよ・・・わかる？ここがね、ものすごい難しい・・・ホンマ・・・ものすごい・・・この一説はものすごい難しい

真田 孔明：

すごい・・・1個しかやらないって難しいですね

北野会長：

A飲めよ！今日はAの誕生日みたいな日や！



A：

そうですね、1歳

真田 孔明：

丸1年

A：

JB1年・・・1歳

真田 孔明：

JBそういえば長いね？俺たちね・・・2011年の1月1日からね

真田 孔明（妻）：

1月からね

A：

本当ですか？

北野会長（妻）：

本当だね

北野会長：

あの日のメールに写真が張ってあったから、お前どこにいる？か書いた・・・あんたがジョホールバルみたいなことを・・・俺は本当は注意しに来たの日本から・・・注意わかる？注意に来たんよ。それでグローバルにお前、真田孔明ってここにおるいうて書いてあると・・・知ってるって言うたら、知ってるって言うたが、それで彼が来たわけや・・・

真田 孔明：

中華料理屋に・・・

北野会長：

中華料理屋に来た。俺はだから・・・本人がおったから本人には文句言うだけど、まあ付き合いやからモレックパインそれ一個買っておくと・・・銭余っとるんやからキャッシュでいいよと・・・英語はわからんやノーイングリッシュ。だからキャッシュで払うからと・・・あのとき、殺そうか生かそうかと・・・殺そうか生かそうかやから・・・もっと腹が立ったらあのとき・・・こんなことないよね。箸でも俺は人を殺せるパワーがあるがやから・・・と思ったんやけど結構いいところがあるがや・・・2回目に来たときやったかな？ワインを3本飲んだの・・・あれは2回目やったかな？



真田 孔明：

そのとき彼がいたんです

北野会長：

ああ〜おった

A：

そのときから？

真田 孔明：

サブロー君っていう・・・

北野会長：

あのときにワインを3本飲んで1,000兆円の借金をしたいって孔明に言うたやん。金はね、よう考えてみれや？働いてね、金をためるなんてものすごく難しいゲームや・・・働いて給料をもらって10万円、20万円ね、毎月貯金はできんもんや・・・でも、これを1,000万円・・・俺みたい

A：

そこまで行くと・・・

北野会長：

そこまで行くと全然ノープロブレム

真田 孔明：

返し続ければもっと借りてくださいって来るから

A：

ふ〜ん

北野会長：

うちの会社なんて本当・・・コンマ5から1%をほとんど割っておるやろ？今1%いうたら俺・・・本当にこんな世界や・・・

A：

笑

北野会長：

俺は内気内向的やから銀行にはそんなにしないけど、俺は必ず言うやて「お前、俺をなめておるのかい？1%？お前、俺をなめておるのかい？」銀行に2回、言うと「社長、コンマ2下げま



す」っていうから、お前バ〜ンと下げると・・・コンマ6ぐらいでどうやって？でコンマ6でもいい言うから、俺はボランティアで借りてやる・・・俺は元本と利息は返えすのはいややから利息は永遠に・・・利息は永遠に払う・・・コンマ6や！わかる？コンマ6って・・・どれぐらい安い？コンマ6や・・・1,000万円借りて60万円・・・そやる？60万円や・・・60万円といったら月5万円ほどや・・・もっと安い？

真田 孔明：

1,000万円だと6万円じゃないですか？

北野会長：

6万円やる？

A：

コンマ6？

北野会長：

月5000円やる？そんなもんやで

A：

そう言われるとそうだわ

真田 孔明：

そう！それ以上に運用してね・・・

北野会長：

発想が全然違うんやから！俺は、返すという基本は余りねえ・・・金は余っておるから・・・返すという基本は全然ない。金は貸して貰った・・・どんどん借りたほうが得に決まっておる。だから恐らくワイン3本飲んでどれぐらい・・・孔明が言うたか俺が言うたか知らんけど・・・俺少ないけど1,000兆円ほど借りれば・・・1,000兆円借りて20%から1%まで利息があるけれども、19%もうかるんやから・・・これぐらいによ・・・頭はいいんやから・・・頭はセンチンピンやけど結構これぐらい計算はできるんやて

A：

なるほどね・・・

北野会長：

だから、Aもそういう話を聞いておくと、人間ちゃあ、どこかでまだわからへんものある

A：

なかなか会社じゃ語られない話しですよ？ 笑



北野会長：

だから、違うやんて・・・会社は勤めておるやろ？みんなね、私は早稲田、私は慶応、私は東大に行ってた言うんは、あれはね全部ただの部品や！部品！部品やから何もならん部品の・・・
どういの？自分の学歴を言って、人にいうが・・・でもあれは言うとするだけなの・・・乞食どもが言う・・・乞食のお粥っちゃあ中身がねえから・・・俺から言うたら、ただのバカや・・・いや俺から言うたらや・・・何もできんがから・・・セールスマン、営業マン・・・

北野会長（妻）：

もういいよ

北野会長：

俺はもう・・・そうか・・・

A：

監督からストップがかかりました 笑 でも人生経験！すごくいい

北野会長：

ホンマにそうよ。あのね、どんだけ学歴を言うとっても何もならんが・・・実行して初めて新しい世界。俺の場合は実行犯やから・・・わかる？実行犯。もう、いけいけばんばんや！怖がることはねえから・・・おい寺！お前、ちゃんと聞いたのかいよ？

北野会長（妻）：

聞いています、ねえ？

北野会長：

今度、俺とゲームせんならんから、孔明は真ん中に入れてやってくれよ？

真田 孔明：

香港で待っている香港で！

北野会長：

香港の会社から仏像をお前のところに送るから、お前それを高く売ればええやねん。30万円でも3,000万円でも買うもんはいっぱいおるんやから！それがわからんがお前は？頭センチンピンやからわからん！あとは、お前、どんどんお布施を集めれ、お布施をくれた人にお釈迦さんを1個送る・・・金のお釈迦さん。わかった？これだけでいい。「亜麻色の～」じゃあねえよ？
きょうのこれでお前の人生は全然変わる・・・俺の場合は天才やから・・・学歴はないけど

A：

いいんですよ。そんなものは



真田 孔明：

Aさん、どこですか大学は？

A：

自分は玉川大学なんです

真田 孔明：

あっ玉川大学

A：

別にあれなんですけど・・・

北野会長：

玉川・・・偏差値は結構高いよね？

真田 孔明：

詳しいですね 笑

北野会長：

俺は東大やから・・・

A：

全部知っていると・・・

北野会長：

すみません・・・灯台は海のところによ・・・パチッパチッと・・・

真田 孔明：

確かに、なるほど 笑

A：

様子を見て 笑

北野会長：

俺は灯台やから・・・

真田 孔明：

高校のときの・・・



北野会長：

そうそう、灯台なんや・・・灯台もと暗し言うけどホンマ灯台やの・・・

北野会長（妻）：

カードは？

A：

前の会社は何かいろいろな大学の人がいたんですけど・・・やはり、何かね・・・今こういろんな人と話すと知らないことのほうが多いなと思いますよ

北野会長：

おい！お寺！

北野会長（妻）：

お寺って言わないの！

A：

会社の中でうまく生きるというのはあるかもしれないですけど、本当に幸せを考えて生きているかという、ちょっとそうじゃない気はしますね

北野会長：

違うんじゃ、だから普通の人は能書きは言える。でも実行はできんが・・・人間っていうのはみんなそんなものなんや・・・俺をってみろ？この内気内向的なところ・・・

A：

いいなと思いました・・・

北野会長：

Aこの店は余り長く続かんぞ・・・これ

A：

平日はだめなんですよ・・・

北野会長：

本当・・・

A：

でも、金土日はまあまあ



真田 孔明：
週末いますよ

北野会長：
ここが大事や・・・人間は生きとけばいい、会社も生かしておけばいい話や・・・俺の場合は12社まで持っておるんやけど、全部黒字や！何でかという、5から俺は4を引くシステムを知っとる・・・5から4は絶対に黒字やないかい・・・プラス1、4から5を引けばマイナス1、たったこれだけのゲームをやる。孔明簡単やる？

真田 孔明：
はい

北野会長：
4から5を引くやつがばかや・・・ほとんどはドボン言うて自殺するか倒産するかや・・・お前、言うたことや・・・だから、5年で90%、もう5年たったら一人生き残ればいい・・・俺なんか43年やよ、これだけで全部の会社、黒字や！銀行はさ、社長や会長やってみんな金を持って来るわけよ

真田 孔明：
いないです。こんなに生き残っている会社が・・・銀行マンが何人かいるんですけど周りにいないって言ってます

北野会長：
俺はね、一つ教えてあげる。俺はね、開業したときに銭1円もなかったなが・・・金1円もなかったが・・・そんで各銀行に10万円を持って行って行って定期預金をするから30万円貸せって・・・隣の銀行に行って30万円を持って行って50万円貸してくれと・・・50万円を持って行って100万円貸してくれ言うたが・・・それが俺の商売の発祥やから・・・

A：
本当ですか？

北野会長：
だからジェントルマン（銭取るマン）これを銀行は返してくれ言うから俺言うたやん。「俺は金持ちやから金利だけはあげるから」って言うたの・・・元本は返さんやろ？俺はやんちゃやから・・・元本は返さない。そしたら、最初はみんな、文句を言うが・・・「元本を返してもらわんと困ると」とかいうが・・・ところが最後になったら、いや、「会長元本は諦めます」いつも利息を払ってくれ・・・

真田 孔明：



絶対につぶれない投資案件！銀行からすれば・・・43年間。こんな投資案件はないでしょ？だって・・・

北野会長：

銀行だけはね絶対せめてこん・・・でも銀行だけはね、チャカと拳銃と日本刀を持ってこんが！あれはネクタイ族や・・・わかる？その一言を覚えとれば人生楽に回る・・・度胸がなかったら自分で起業しても当たらない。この俺の100億円を借りるこの発想・・・だから俺は初めて孔明に会うときにワイン3本、飲んで1,000兆円、借金する俺は1,000兆円。1,000兆円は国家やから・・・わかる？日本の1,000兆円は全部国に貸しとる、貸し出ししとる日本の国ほど嘘つきキツツキもねえから。ホンマやあれは一番のうそつきや・・・帰ろうかな？ 奥さん、おあいそ！

